

名前：

今の世界を「地球村」と呼ばれる。交通や通信の発達で、全世界がまるで一つの村のようになつたという意味である。特にインターネットの発達は「地球村化」の重要な原因である。インターネットで世界中の様々な情報を得ることができるのだ。

十数年前からは、新聞や雑誌をインターネットで見ることができ、ニュースもホームページを通じて見ることもできるようになつた。図書館に行かなくとも、コンピュータさえあれば、インターネットで必要な資料を見ることが出来る。つまり、インターネットは我々の生活で時間的・空間的な制約を消せるようにしたと言えよう。

インターネットがあまり便利なので、「もう新聞や本はいらない」と主張する人もいるようだ。「インターネットでニュースを見られる、新聞や本も読まれる、他の情報も分けられる、そうだからインターネットさえあれば大丈夫だ。」という考えのようだ。

しかし、本当にそれでいいのだろうか。そうは考えられない。インターネットであらゆる情報に接することは、たしかにできる。だが、ある情報を自分のものにするのに、インターネットでは無理があると思う。

知識というものは、一回見るだけで得られるものではない。その意味を考え、何回も見ただ後で分れられるものである。でも、インターネットの便利さはそれをできなくなるようにする。

インターネットでは、あらゆる情報がある。クリックだけで自分が必要な情報の要約文を手に入られる。本当に便利なのだ。しかし、それでは自分の考えはどんどんなくなつてしまふ。情報を集める時の努力などで感じられる「知的な衰熱」もない。インターネットの便利さにインスタント知識が増えることは注意すべきだ。